

改良主義的諸政策を描けて、大衆を偽瞞して代議士に依り以て帝國主義政策へ投調せんとして当選第一主義を以て選挙に臨むんとする。

三、わが党は何が故に選挙戦に参加し来り又参加せんとしつゝあるか。

云ふまでもなくわが党は労働者農氏の戦闘的企盟として、その綱領を精神としその政策の実現の爲めに、大衆闘争主義に立脚して戦ひつゝあるものである。一言にして云ふならば、わが党はわが党の此の闘争を、最も有効に展開し得べき一場面として、選挙戦に参り出さんとするものである。

四、即ち選挙は、民衆の政治的関心の最も高潮する場面であり、已の政治的意見を表現せんとしつゝある場面なるが故に、

この機会に乘じて、第一にブルジョアの本質、社会民主主義者の本質を暴露し、民衆の不平不満をアジシ抽出し、階級の政策を宣傳して、民衆に自己の不平不満を確立せしめ、その爲めの闘争方法を教へ、敵と味方をハッキリと區別せしめ、階級の闘争への参加の希望を懐かしむると同時に、彼等の投票によつて、先づより支配階級

級に対する反社意思を表示せしめんとするものである。

即ち、大衆の教育、及び大衆の組織化の一過程として、選挙戦を戦はんとするものである。

五、第二にわが党は、わが陣営の闘争力が充分に動員せられ、支配階級があらゆる偽瞞と弾圧と術策を以て襲ひかゝる場合に於て、わが党自身の躍進、アジ、プロパ、動員、組織に關する習熟訓練をなし、わが陣営の強化を計らんが爲めに、選挙戦に参加せんとするものである。

六、最後に、わが党は前述の如く大衆闘争主義に立脚し、選挙第一、当選第一主義と対立する。

これを爲し得る力は一に大衆的闘争の圧力のみである事を信じてゐる。然らば我等は、当選を度外視するか。否、わが党は労働者農氏の眞の代議者をブルジョアに送り込む事の重大意義を確信してゐる。

労働者農氏の眞の代表者が、議会外の大衆闘争に従属しその一端として、議会に於て、最も明確に労働者農氏小市民、水戸社植民地民衆等の及此諸層の要求を叫ぶ時、その要求が議会に於て如何に取扱はれるかを、民衆は如何に思ふであらう。